

京都大学学知創生ユニット企画シンポジウム(危機と共生のトランスボーダー)

# 食の人文学

## 「かかわり」から考える

解題:

藤原辰史 (京都大学人文科学研究所)

登壇者:

磯野真穂 (国際医療福祉大学)

「身体の開鎖と食の断絶  
—拒食と過食のフィールドワークを通じて—

湯澤規子 (筑波大学)

「胃袋の近代—食と人びとの日常史—

コメンテーター:

木村友美 (京都大学東南アジア研究所)

安井大輔 (京都大学大学院文学研究科)

藤原辰史 (京都大学人文科学研究所)

司会:

河野泰之 (京都大学東南アジア研究所)

2016年2月16日(火) 14:00~18:00

京都大学人文科学研究所セミナー室1 〒606-8501 京都市左京区吉田本町



主催: 京都大学学知創生ユニット 共催: 京都大学人文研アカデミー

お問い合わせ: 京都大学人文科学研究所 総務掛 TEL: 075-753-6902

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp> e-mail: [annai@zinbun.kyoto-u.ac.jp](mailto:annai@zinbun.kyoto-u.ac.jp)

予約不要  
無料



# 食の人文学

## 「かかわり」から考える

有史以来、人間は、本当に楽しくものを食べてきたのだろうか。湯気の立つ鍋を囲む家族の風景も、鍋の具材や道具や燃料を一つ一つを追ってみると、ほぼ例外なく地球のどこかの搾取と破壊と貧困にたどり着く。だから、人間は、客観的にみれば、一度だって楽しく食べることはできていないのかもしれない——

「摂食障害」と名付けられる現象から食の哲学を逆説的に解いた文化人類学者の磯野真穂さん、近代日本社会の「共食」の人類史的原風景を膨大な資料から描いた歴史地理学者の湯澤規子さん、日本で最もホットな食研究を進めているお二人をお招きして、未踏の食研究の射程とそれが狙う未踏の食の風景をデッサンしてみたい。



磯野真穂 (いその・まほ)

国際医療福祉大学大学院 講師  
 専門…文化人類学/医療人類学  
 著作…『なぜふつうに食べられないのか——拒食と過食の文化人類学』(春秋社、2015)  
 'Bon Bon Fatty Girl: A Qualitative Exploration of Weight Bias in Singapore' in 'The Fat Studies Reader' (New York University Press, 2009)



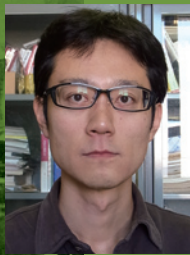
湯澤規子 (ゆざわ・のりこ)

筑波大学 准教授  
 専門…農業史、歴史地理学  
 著作…「近代尾西織物業地域にみる農工関係の変容過程—鈴鎌工場史料の分析を通して—」(『農業史研究』第49号、2015年)、「共同炊事と集団食からみた尾西織物業地域の近代一起共同炊事組合の史料に着目して—」(『歴史地理学』第57巻4号、2015年)



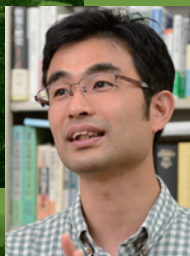
木村友美 (きむら・ゆみ)

京都大学東南アジア研究所 学振特別研究員  
 専門…フィールド栄養学、公衆衛生学  
 著作…「雲の上で暮らす牧民たちの食事」奥宮清人・稲村哲也編『続・生老病死のエコロジー——ヒマラヤとアンデスに生きる身体・こころ・時間』pp.228-233(昭和堂、2013年)  
 Eating alone among community-dwelling Japanese elderly: association with depression and food diversity. Journal of Nutrition, Health & Aging. 2012;16(8):728-31.



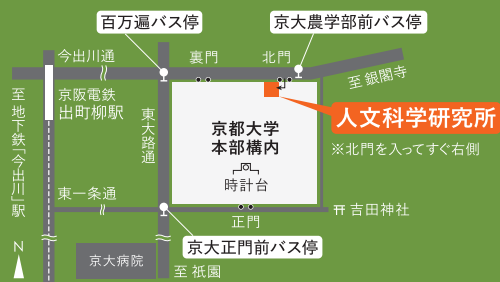
安井大輔 (やすい・だいすけ)

日本学術振興会特別研究員PD  
 専門…社会学、エスニシティ研究  
 著作…「多文化混交地域のマイノリティ——接触領域の食からみるエスニシティ」(『ソシオロジ』第57巻2号、2012年)



藤原辰史 (ふじはら・たつし)

京都大学人文科学研究所 准教授  
 専門…食の思想史、農業史  
 著作…『ナチスのキッチン——「食べること」の環境史』(2012)、「食べることを考えること」(2014)



- 市バス 17、203系統「京大農学部前」下車徒歩1分 31、201、206系統「百万遍」下車東へ徒歩5分
- 京阪電車「出町柳」下車東へ徒歩15分 京都大学 北門入ってすぐ右
- \*駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

